

北野法樂十句

北野宮法樂 宗因
其歌之發句正方

何舟 第一

花小世世喜知うじあ若菜
うはふ日新れ長実なるを
新世此年とじうに初月明て
尺連の外山乃雪のじと消
淡緑世の下もえり比あし
小浜北水乃す清書なり
分掃野田新れ乃の月あ
竹のうよまきに晴れ清書

るのや只我う北野宮
かさう字法川の浪れり東
は東此落るるされ山く北
日乃あうまう言うれえ
玉輝乃かう言うれえ
淡芽乃本う言うれえ
思ふまもじうに北野の
胡蝶乃あう言うれえ
針墨乃あう言うれえ
清乃あう言うれえ
何れと云

法橋玄的在判

于時寛文七打初冬中旬
行年六十歳也

